

日 時 平成26年10月10日（金） 5校時

場 所

学 級

指導者

1 単元名 「校外学習にでかけようー錦秋湖に紅葉狩りに行こうー」

2 単元について

(1) 生徒観

本校の特別支援学級は知的障がい学級（F組）、自閉症・情緒障がい学級（G組）そして病弱・虚弱学級（H組）の3学級である。在籍生徒は4名と少人数なので、社会性を身につけさせる観点からも一緒に生活（朝の会、給食等）を行っている。学習は状況によって、4名全員で、内容別、進度別そして学年別に分けて行っている。

生徒たちは明るく前向きな気持ちで生活することができる。少々苦手なことや初めての場面においては、支援を行うことにより、最後まで頑張り通せることが多くなってきた。しかし他者とのコミュニケーション、集団の中でまわりを意識した行動等においては、まだ難しい部分が多い。今後も継続した指導が必要であると考え。

また本単元に関しては、今年度は3回目となる。前回までの2回の校外学習は、学習を実施することや日程の提示を教師主導で行ってきた。しかしこの方法では、ともすると「自分でやってみよう」とする積極性や「自分で成し遂げよう」とする態度等の面で、やや物足りなさを感じる現状があった。本校特別支援学級在籍4名の保護者共通の願いは、「将来は何らかの仕事に就き、自立した生活ができる人になってほしい」ということである。その願いに添える指導を生活全体の中で取り入れて行うよう、普段から心がけている。本単元の学習が、その一つとなるよう展開していきたいと考える。

(2) 教材観

年間の計画として、1学期は「第1回校外学習（学校近辺での買い物と総合運動公園でのお花見）」、「第2回校外学習（さくら野百貨店 北上店へ行こう）」の2回を、2学期は「第3回校外学習（錦秋湖に紅葉狩りに行こう）」を、3学期は「第4回校外学習（マルカン百貨店へ行こう）」を計画している。生徒達は校外で学習することをとても楽しみにしている。この意欲を大切にしながら授業を展開していきたい。前述の通り、前回2回までは教師主導で行ってきた。しかし今回は、「自分たちの校外学習を自分たちで組み立てる」ということを目標に行いたいと考えた。このことが、より「自分たちの校外学習」という気持ちを持つことにつながり、さらにはこれを繰り返すことにより、将来の自分の生活を組み立てる力の育成につながっていくものと考え。

また本教材は教科で学んだことを実際の場面で試す要素が含まれている。例をあげると、注文時や困った時等に自分の考えを相手に分かるように伝えることやそのやりとり、対応してくれた店員さんや助けてくれた友達に「ありがとう」を伝えるコミュニケーション能力、運賃や品物に対して的確な金銭を出すことや金銭を自分で管理すること、そして地図上の位置関係や目的地までの交通機関を利用するかを考えたりすること、そして植物と気温の変化との関係等がある。それらの力を身につけることは、実際の場面で繰り返して体験させていくことがとても効果的であり、より生徒自身の力になっていくものと考え。そしてそれらのことが、将来自立した生活を送る上で必要となる力の習得につながっていくものと考え。

(3) 指導観

前述の通り、本校特別支援学級在籍4名の保護者共通の願いは、「将来は何らかの仕事に就き、自立した生活ができる人になってほしい」ということである。将来自立した生活を送る上で必要となる力は、自分の置かれている状況を正しく理解してどうしなければならないかを考えることのできる力、自分の行動に見通しを持つことができる力、コミュニケーション能力、金銭を計画的に使うことのできる力、公共交通機関を利用できる力、そして公共の場でのマナーに沿った行動ができる力等がある。機会をとらえ繰り返し体験させることでこれらの力の習得を目指したい。

事前学習では行き先や実物の写真等を用いて、より具体的にイメージさせることを行いたい。また将来生活していく中で使用することも考えられる時刻表や路線図等にも触れさせ、知識として身につけさせたい。より実践的な学習活動となるよう、各所で工夫していきたい。

3 単元の目標

- ・人と関わりを持ち、自分の思いや考えを伝えることができる。
- ・意欲的に学習に取り組み、達成感や成就感を味わい、自信を持つことができる。
- ・公共の場（交通機関・場所等）でのマナーや集団行動時の決まりを身につけることができる。
- ・自分で金銭の管理を行い、計画的に、そしてスムーズに使う力を身につけることができる。

4 単元の指導計画（全47時間）

〈第1回校外学習〉「学校近辺で買い物をしてお花見をしに行こう」 4時間扱い

〈第2回校外学習〉「さくら野百貨店 北上店へ行こう」 13時間扱い

〈第3回校外学習〉「錦秋湖に紅葉狩りに行こう」 15時間扱い

事前学習1 計画をたてる①（実施月日・目的地や費用等の生徒への提案、保護者への確認の仕方）
・・・・・・・・・・1時間

事前学習2 計画をたてる②（日程の組み立て、使用する交通機関の決定、現地での滞在時間等）
・・・・・・・・・・1時間※本時

事前学習3－①（バスの利用の仕方の確認）・・・・・・・・・・1時間

事前学習3－②（電車の利用の仕方の確認）・・・・・・・・・・1時間

事前学習3－③（公共の場でのマナーの確認）・・・・・・・・・・1時間

事前学習4 最終確認（日程・バスや電車の利用の仕方・マナー・職員室への挨拶の仕方等）の確認
・・・・・・・・・・1時間

校外学習 バス・電車・錦秋湖畔公園にて・・・・・・・・・・6時間

事後学習 まとめ（プリントへの記入・掲示物作り等）・・・・・・・・・・3時間

〈第4回校外学習〉「マルカン百貨店へ行こう」 15時間扱い

5 本時

(1) 目標

- ・まわりの人と関わり合って、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・自分の考えや思いを、自分の言葉で伝えることができる。
- ・校外学習の計画の立て方（日程の組み方・使用交通機関の決定等）を理解することができる。

(2) 生徒の本時に関する実態、および本時における個別の目標と支援の手立て

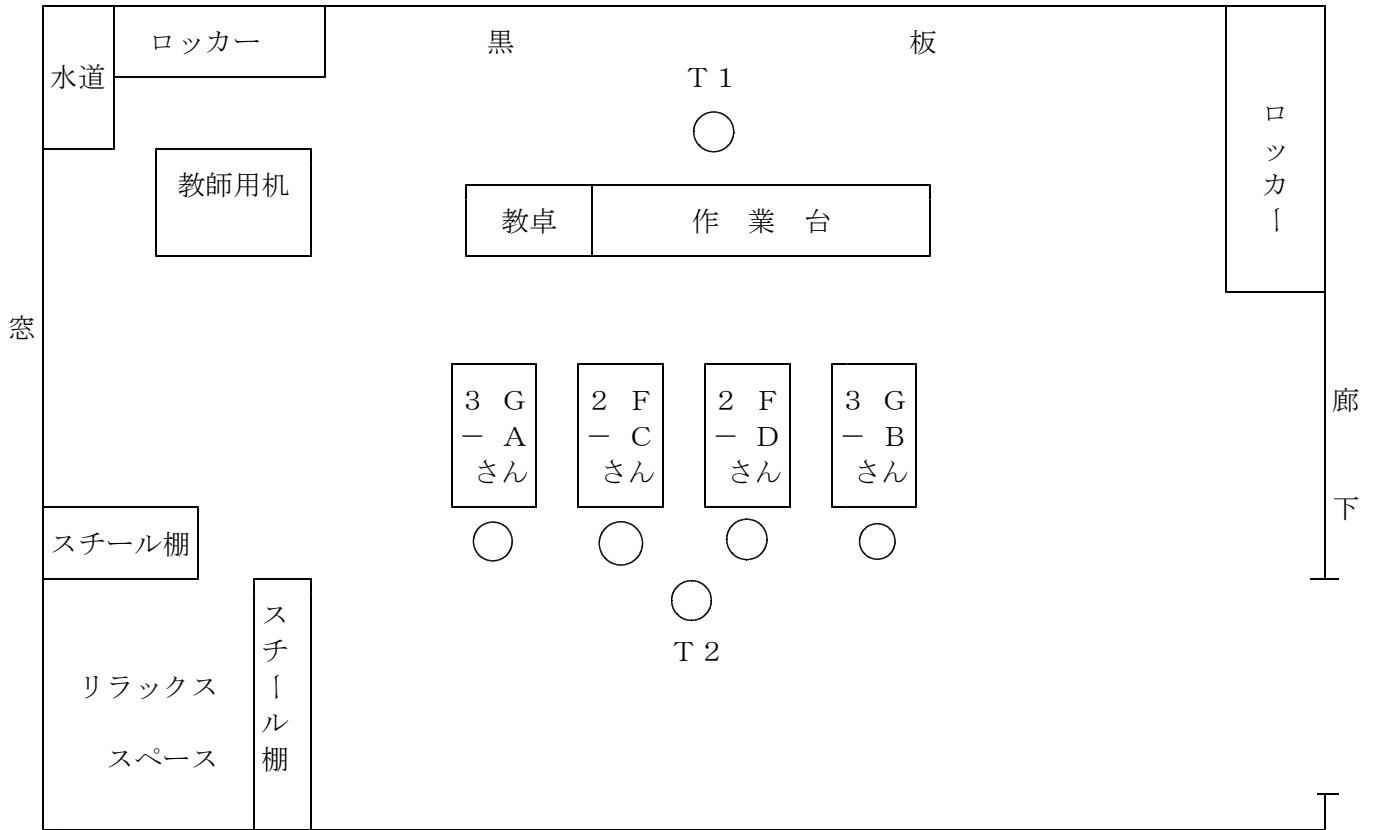
(3) 展開

学習段階	学習活動	指導上の留意事項
2分	1 あいさつをする。 全員で元気に大きな声であいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・イスの入れ方の約束を守ることができるようにさせる。 ・姿勢を正してしっかりあいさつができるようにさせる。 ・T2 →遅れ気味の生徒への支援。
説明 5分	2 前時を振り返る。 3 本時の学習課題（目標）を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を、生徒の言葉を引き出しながら振り返りをさせる。 ・紙板書や実施要項等がヒントになることに気がつかせる。
校外学習の日程を自分たちで考えよう		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「日程を自分たちで組み立てること」の学習をすることを伝える。
理解 確認 6分	4 日程を考える上で必要となることを確認する。 (1) 目的地、行き帰りそれぞれの出発地点と到着地点等。 6 (2) 計画をたてる上で手段となるもの(時刻表・インターネット・電話・目的地とその付近の写真等)。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の言葉を引き出すようにする。 ・写真を用い、具体的なイメージを持たせる。 ・具体物(地図・路線図・時刻表・パソコン・電話等)や目的地等の写真を提示し、イメージを持たせるようにする。生徒の言葉を引き出すようにする。 ・分からないときの対処の仕方(「ヒントをください」「教えてください」等)の確認を行う。 ・T2 →集中できない生徒への声かけを行う。
	5 座席の移動(座席表②の形)をする。	
理解 深化 2 5分	6 ペアごとに校外学習の日程をたてる(行きの交通手段と時刻・帰りの交通手段と時刻・目的地での過ごし方)。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで調べたことを学習プリントに記入させる。交通手段→目的地での過ごし方の順で調べたり、計画を立てさせる。 ・課題解決の方法の分からないペアには「分かりません」の意思表示をさせ、教師からモデルを示したり、ヒントを与える。 ・残り時間を視覚確認できるタイマーを用い、時間を意識させる。 ・T1は3G-B・2F-D、T2は3G-A・2F-Cの支援を行う。

	<p>7 各ペアで話し合ったことを発表する。</p> <p>8 日程の決定を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「《発表の場面での約束》」を意識させる。 ・2 F - C ・ 2 F - Dには発表の型を見せながら、自分で発表させる。できたことをほめる。 3 G - A ・ 3 G - Bには自分で発表させる。できたことをほめる。 ・ T 1 は 3 G - B ・ 2 F - D、 T 2 は 3 G - A ・ 2 F - C の発表の支援を行う。 ・ 2 ペアの意見を集約し、日程の決定を行う。 ・ どちらか一方の意見を取り上げなければならない時は、お互いの妥協点を見つけさせる工夫を行う。
	<p>9 座席の移動（座席表①の形）をする。</p>	
<p>自己評価</p> <p>10分</p>	<p>10 今日の学習を振り返る。</p> <p>(1) 本時の学習の成果を自己評価カードに記入する。</p> <p>(2) 本時の学習の成果を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の自己評価と、ポイントとなる言葉を使つての「わかったこと」「がんばりたいこと」を記入させる。自分の思いを表現できるようにさせる。 ・2 F - C ・ 2 F - Dには必要に応じてポイントとなる言葉が書かれたポストイットを見せる等の支援を行い、自分の言葉で文章を書かせる。3 G - A ・ 3 G - Bは自力解決を基本とする。 ・ T 1 は 3 G - B ・ 2 F - D、 T 2 は 3 G - A ・ 2 F - C の発表の支援を行う。 ・自分の思いを表現できるようにさせる（できれば全体で行う。できない場合は隣同士でペアになり行う）。 ・2 F - C ・ 2 F - Dには発表の型を見せながら、自分で発表させる。できたことをほめる。3 G - A ・ 3 G - Bには自分で発表させる。 ・できたことをほめる。 ・ T 2 →集中できない生徒への声かけ等。
<p>2分</p>	<p>11 次時の予告をする。</p> <p>12 あいさつをする。 全員で元気に大きな声であいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は「バスの利用の仕方の確認」を行うことを伝える。 ・ T 2 →集中できない生徒への声かけ等。 ・イスの入れ方の約束を守ることができるようになるようにさせる。 ・姿勢を正してしっかりあいさつができるようになるようにさせる。

(4) 座席表

<座席表①>



<座席表②>

